

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 3 区分

【発行日】平成 19 年 12 月 20 日 (2007.12.20)

【公表番号】特表 2003-514681(P2003-514681A)

【公表日】平成 15 年 4 月 22 日 (2003.4.22)

【出願番号】特願 2001-539623(P2001-539623)

【国際特許分類】

B 2 3 B 31/117 (2006.01)

【F I】

B 2 3 B 31/117 6 0 1 A

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 10 月 22 日 (2007.10.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 3】

図 3 a はダイヤフラム 2 1 の実施の形態を示している。このダイヤフラムは可撓性のダイヤフラム 1 9 の面全体を支持している。ダイヤフラム 2 1 の外側エッジ領域は同時にダイヤフラム 1 9 と共にケーシング部分 1 0 , 2 0 の間に同心的に挟持される。可撓性ダイヤフラム 1 9 のダイヤフラム部分 2 1 の支持面は細い半径方向スリット 2 7 によって多数の扇形部 2 8 に分離されている。個々の扇形部 2 8 の運動性は接線方向のスリット 2 9 によってヒンジのように容易になる。この接線方向のスリットは充分に短い接続部 3 0 が残るように形成することができる。従って、ダイヤフラム部分 2 1 の内側エッジがフリーであるので、全体として良好に動くことができる支持要素が生じる。この支持要素は一方ではダイヤフラム 1 9 の押圧力によって、他方ではばね 2 2 の戻し力によって往復運動する。